

令和8年度 北の沢小学校 学力学習状況調査の結果と分析

(1) 教科に関する調査の結果と分析

【小学校国語】

小学校 国語

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【内容】 「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ▼全国平均を下回っている。	➤ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。	➤ 漢字のもつ意味を理解し、文の中で正しく使う学習活動の充実。
「情報の扱い方に関する事項」 ▼全国平均を下回っている。	➤ 目的に応じて必要な情報を見つけ出す力。	➤ 集めた材料を分類したり関係付けたりして、目的や意図に応じて情報を整理し、活用する学習活動の充実。
「話すこと・聞くこと」 ▼全国平均を下回っている。	➤ 資料を活用するなど、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。	➤ 話の構成を考え、目的や意図に応じてどのようにインタビューや発表を進めればよいかを検討する学習活動の充実。
「書くこと」 ▼全国平均を下回っている。	➤ 情報を引用し、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書く力。	➤ 書く活動を日常的に取り入れ、自分の考えを理由や事例と結び付けて記述する指導の充実。
「読むこと」 ▼全国平均を下回っている。	➤ 文章を読んで理解したことに基づき、自分の経験と結び付けて考えをまとめること。	➤ 文章の構造を大まかに捉える力を養うとともに、内容を正確に理解した上で、それを手掛かりに自分の考えを形成する学習活動の充実。

【小学校算数】

小学校 算数

本校の概要

【領域】

「数と計算」

▼全国平均を下回っている。

「図形」

▼全国平均を下回っている。

「測定」

▼全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「変化と関係」

▼全国平均を下回っている。

「データの活用」

▼全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

- 異分母の分数の大きさを比較し、その理由を記述することに課題。
- 数直線上の「1」を表す目盛りを正しく捉える力も不足。

- 条件に基づいて図形を構成する要素（三つの辺の長さなど）を捉え、求め方を数や言葉で記述すること。

- 単位量当たりの大きさを求める式の意味を理解し、その商から混み具合を正しく判断すること。

- 数量の関係を視覚的な図（数直線や関係図）と結び付けて捉える力。

- 複数の表から集計の誤りを見つけ、その根拠を数と言葉で記述する力や、帯グラフからおよその割合を読み取る力。

改善の方向

- 数直線や図を活用し数量関係を視覚的に捉え説明する活動や、計算の手順だけでなく意味を理解し言葉で表現する指導を、異分母の分数の大小比較や数直線上の数値把握といった具体的な場面において充実させる。

- 観察や操作などの活動を通じて図形の性質への理解を深め、根拠を持って図形の特徴を説明したり整理したりする学習活動の充実

- 習得した知識を生活の場面に関連付け、数量の関係に着目して、条件に合う解決方法を考える学習活動の充実。

- 百分率や倍の概念を、単なる計算としてではなく、数直線上の位置関係として理解させる

- データの特徴や傾向を捉え、根拠を持って考察する統計的な問題解決能力を育成します。表やグラフを適切に活用して自分の考えをまとめる活動の充実。

(2) 児童質問紙調査の結果
全国と比較して顕著な項目

質問 番号	肯定的な回答の割合が 高い 質問事項	肯定的な回答（％）		
		本校	札幌市	全国
9	先生は自分のよいところを認めてくれている	95.7	92.9	91.4
12	いじめはどんな理由があってもいけない	100.0	96.6	96.2
17	友達関係に満足している	95.7	89.9	91.1
45	先生は分かるまで教えてくれている	95.6	86.6	87.3
46	友達や周囲と協力して課題解決に取り組む	100.0	92.0	91.4

質問 番号	肯定的な回答の割合が 低い 質問事項	肯定的な回答（％）		
		本校	札幌市	全国
8	自分にはよいところがある	69.5	85.5	85.6
39	課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる	60.9	78.5	77.6
48	総合的な学習では、ＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したりして、発表したりできている	65.2	79.8	79.7
66	算数の授業で考え方を説明する活動を行う	39.1	59.6	63.0
71	将来、積極的に英語を使う仕事等に就きたい	39.1	42.3	45.4

上記の結果や児童・保護者アンケート等を参考に、学校全体の課題と判断したものについては、全校的に改善に向けて取り組んでいきます。